



美術部 三年 鈴木涼花



第63号
発行所
福島県立白河旭高等学校
稚松会
編集兼発行人
稚松会文化部
(有)古楓堂堀川印刷所

会員の皆様には、御家族共にお元氣にお過ごしのことと思ひます。

昨年十二月に表郷に於いて第一回目の支部総会が行なわれ参加して参りました。会場に会員の方々十五名も参加されておりました。皆さんは昔の思い出話をしたり、一人一人現状報告したり、これからの支部をどのようにしようかと、いろいろと提案を出し合っていました。昼食を取りながら会員の鳴島あや子さんの「語り」を聞き、楽しい時間を過ごしました。この姿こそ支部の役割だと思ひました。参加された皆様に感謝申し上げます。

稚松会では、毎年三世代の表彰が行われていますが、今年は何と十六組、四十八名の最多の表彰となりました。これは御家族が皆様の母校に對



感謝

昭和四十年卒

稚松会会長 渡辺 美恵子

する深い御理解と愛校心の現れのお場と思ひます。心より感謝申し上げます。

又会員の皆様の活躍も次々と耳に入ってまいりました。今年十六年度卒業の金澤悠人君のライブが白河で行われました。このように一生懸命頑張り、光り輝いている姿を大変嬉しく思ひました。皆様輝いて下されば旭高校も輝き、稚松会も輝いてきます。大いに頑張つて下さい。

又総会に於いても、昨年に初めて男性の参加があり、今年度は、お二人の参加がありました。勇氣ある参加に心より御礼を申し上げます。これからも年々男性の方々にも協力をいただき、良き稚松会にしていきたくと思ひます。どうかより多くの方々に参加されます事を望んでおります。



伝統と変化の中で



校長 鈴木 芳 人

稚松会の皆様には、日頃より母校

の教育活動にご支援を賜りますこと、感謝申し上げます。四月一日に第三十八代校長として着任以来、総会や新入生歓迎ダンスパーティー等の折りに、皆様からお話を伺う都度、創立以来百四年の歴史の重みと、母校に寄せる熱い期待を感じ、身が引き締まる思いであります。

在校生は、伝統が醸し出す落ち着いた雰囲気の中、学習や部活動等にひたむきに取り組んでおります。陸上競技部は、三重県で開催されたインターハイに二名の選手が出場し、九月の東北高等学校新人選権では、男子棒高跳び第一位など、四名の選手が入賞を果たしました。また、次年度、佐賀県で開催される全国高等学校総合文化祭に文芸部・美術部が県代表として参加いたします。他に県大会上位に進出する部が多く見

られ、今後の活躍に期待しているところです。

一方、生徒達は、これも伝統の JRC を始め、地域の催事などでのボランティア活動にも積極的でありま

す。十月には、長年の献血活動の実績が認められ、JRC 委員会が県知事より表彰いただきました。校訓の「明るく、優しく、正しく」がまさに体現されたものと考えております。

以上、生徒の活動の一端をご紹介しましたが、彼らが様々に挑戦し達成感を味わうことができるのは、会員の皆様を始め、地域の支えがあつてこそのことです。

社会の変化の波は、本校にも否応なく押し寄せ、次年度入学生からは、学年四クラス体制となります。不易なものを大切に地域に根ざした学校でありたいと考えます。今後とも、会員の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

恩師からの便り

尊敬する指導者 宍戸初子先生



結城 勝 夫

教員に成り立ての私が、宍戸初子先生（前稚松会会長）とご一緒させて頂いた数年間は、大変貴重な時間でした。

先生は、とても笑顔が素敵で、いつもはつらつとしておられました。生徒たちにとって、先生はまさに憧れの存在でした。一方、生徒指導の面では、先生が最も厳しいと言われ

ておりましたが、誰一人として不平や不満を言う者はおりませんでした。指導者のあるべき姿を見た思いがしました。また、先生の授業は、いつもピンと張りつめた雰囲気の中で行われ、生徒たちがきびきびと無駄なく活動していることに、大変感動しました。少しでも近づきたいと努力しましたが、思うようにはいかず、

己の力不足を痛感しました。

先生が創始された「新入生歓迎ダンスパーティー」は、永きにわたり、御校の象徴的な行事として愛され、親しまれて参りました。素晴らしい行事を創始された先生の先見の明に、深く敬意を表します。

先生は、卒寿を過ぎられた今もご健在と伺っております。これからも益々お元気で、御校を見守って頂きたいと願っております。

先生の後姿を追い続けた当時を偲びつつ、改めて深く感謝を申し上げます。

御校の更なるご発展と稚松会のご隆盛をお祈りします。

支部だより

稚松会白河支部会 に出席して

昭和49年卒

酒井 智子



今年も母校の新生歓迎ダンスパーティーの日程に合わせて、白

河支部会のお知らせを頂きました。

五月二日、十一時より、北堀切のレストランカフェ「プラネット」において会食後、母校のダンスパーティーへというスケジュールでした。

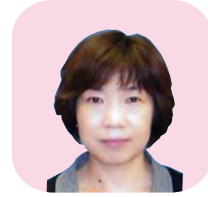
今回は三十七名の参加がありました。嬉しいことに平成四年卒、平成九年卒の若い同窓生の姿も見られました。先輩後輩と明るい雰囲気の中で思い出を語り合える支部会を企画し準備して下さった方々に感謝致します。

これからも同級生誘い合っ
て、年々参加者が増えることを願っています。

世代を越えた親睦会

昭和49年卒

秋山 文子



白河在住

の皆さんと懐かしい高校時代を思い出し、おいしいランチを食べながら、交友を深め、母校でのダンスパーティーを見学する会が今年も開催されました。会員相互の親睦と教

養を深め、併せて母校の発展に協力するというスローガンの元、役員それぞれが五名の方に声をかける所から始まり、五月二日(水) プラネットには、S十五卒からH九卒まで五十年以上の世代を越えた同窓生が三十七名集いました。会食、懇談で楽しい時間を共有する事が出来、大変嬉しく思います。その後、母校でのダンスパーティーを見学し、男女共学の素晴らしさを実感する一日となりました。

表郷支部総会 を終えて

昭和44年卒

根本 清江



十二月十五日、表郷支部総会を開催しました。十二月に入り何かと忙しい中、六十代、八十代と幅広く十五名の出席者がありました。それに花を添えて渡辺美恵子会長が出席して下さり、校歌から始まり行事報告、来年の予定と話し合い、直接本部の様子も伺うことが出来て、新年への計画に胸を躍らせました。引き続き昼食をとりながら懇親会を行い、

白河在住の鳴島あや子さんの語りや手品等を堪能し、それぞれ学生時代にもどり、通学状況、たとえば「交通の便が悪く西郷から歩いて通学した」等、話がたえず、時間のすぎるのも忘れていました。今後は、本部の総会等にも積極的に参加して行きたいと言う事でおひらきになりました。

同窓生からの便り

同窓生に感謝

昭和45年卒

渡邊 洋子



卒業の年に病を患った私は当然卒業式には出られず、今だに白河を卒業した実感が無いという旨を、同窓生に話した事がありました。その後、六十歳の同窓会(耳

私の大事なこと

昭和50年卒

金 沢 富士子



私は現在、白河戊辰百五十周年記念事業の事務局長としております。

白河戊辰戦争関係の事業は三十周年以来の大きな事業であり、市として開催することは、初めての事業となりました。その中でも、合同慰霊祭は、鹿兒島市長、萩市長を始めとする戊辰戦争関係の方々が千

順の会)の時です。何と、サプライズで私の卒業式をしてくれたのです。私は涙が止まらず、同窓生の皆様に本当に心から感謝した事を思い出します。

看護師となった私は、福島赤十字病院を退職後、福島医大に勤務、現在は九十一歳の母の介護をしながら、趣味の展示会を開いたり、レクダンスを楽しんでおります。校名は変わりましたが、常に母校の事を思い出します。あの時のあの卒業式を胸に。

人も集まった大きな祭典となりました。

また、白河の食文化で戊辰戦争の周知を図る事業として、「白河戊辰ラーメン合戦」を開催しました。このように記念となる事業に携われたのは、市職員時代、文化振興課、観光課在職中に多くの市民の皆様と接し白河の観光文化を活性化させる事業に携わっていたからと感じております。私の人生で大事な事は、人との繋がりとその人を大事にすること、また、白河に誇りを持つことであると考えております。人生百歳の時代、これからも地域を大事に多くの方と語り学ぶ人生で在りたいと考えております。



平成 30・31 年度役員

礎固き わが白河の…

総会・新年会



耳順の会

耳順により
再び芽生えた友情

昭和52年卒業

星野 雅子

平成最後の記念すべき新年会を担当させて頂きました。昨年バトンを渡された際、不安と共に身の引き締まる思いがしたのをはつきり記憶しております。しかしその不安は不要でした。多くの同級生が集い、その一人一人がこれまでの人生で培ってきた能力や特技を十分発揮し、楽しい会を作り上げる事ができました。ブルゾンちえみに仮装した役員の進行で出席者全員の参加型クイズ、「今日といういちにちが笑顔で居られるように」と「365日の紙飛行機」の大合唱でアトラクションを終了。耳順の会には、42年もの空白を一瞬にして、同じ色に染めてしまう魔力があるようです。

次期耳順の会

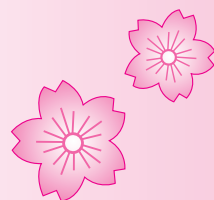
昭和53年卒の皆さんです。よろしくお願致します。



感謝状贈呈

(10年以上役員)

役職	氏名
副会長	田代洋子さん
副会長	北島和子さん
副会長	川瀬方子さん
文化部部長	小谷田厚子さん





耳順の会によるアトラクション



平成 30・31 年度役員・支部長



稚松会総会

親子三代お祝い

	生徒氏名(クラス)	保護者(旧姓・卒業年度)	祖母(旧姓・卒業年度)
1	石田 唯奈 (1-1)	石田 友美 (山田)・H10	山田 里美 (和知)・S53
2	齋藤 海杏 (1-1)	齋藤 久美子 (小谷田)・H3	齋藤 京子 (坂本)・S45
3	加藤 拓海 (1-2)	加藤 京子 H3	加藤 てるみ S42
4	金沢 宏美 (1-2)	金沢 麻紀子 (須釜)・H4	須釜 ヨシ子 (大越)・S35
5	兼子 瑞穂 (1-2)	兼子 千春 (大倉)・H8	大倉 芳子 (高崎)・S47
6	齋藤 和奏 (1-2)	齋藤 美由紀 H2	齋藤 初子 S42
7	中丸 柊花 (1-2)	中丸 直美 (小林)・H4	小林 和子 (阿部)・S44
8	有賀 大陽 (1-3)	有賀 圭子 (水野谷)・H5	有賀 悦子 S34
9	竹内 乙葉 (1-3)	竹内 佳織 H3	竹内 史子 (村田)・S44
10	田村 優成 (1-3)	田村 利恵 (藤田)・H4	藤田 啓子 (長田)・S44
11	笠原 英哲 (1-4)	笠原 昭子 (近藤)・H元	笠原 和子 (斎藤)・S37
12	菅原 美空 (1-4)	菅原 由香 (吉成)・H3	菅原 敏子 (松井)・S43
13	高崎 希実 (1-4)	高崎 真由美 (須藤)・S63	須田 和枝 (早津)・S36
14	芳賀 清花 (1-5)	芳賀 智子 (藤田)・H5	芳賀 信子 (柴原)・S42
15	水野谷 愛 (1-5)	水野谷 裕子 (長倉)・H6	水野谷 文子 S43

親子三代表彰を受けて

平成4年卒業

田村 利恵

「お母さん、ありがとう」夏の大会最後の帰り道、長男が私にかけた言葉です。毎日の送迎、大会の応援親として楽しかった反面大変だった日々。ふと思い返すと私の高校時代も同じでした。母もこの高校を卒業。どんな思いで私のためにしてくれたのだろう。感謝の気持ちでいっぱいになりました。良き先輩、良き友達、良き先生に恵まれ素直に育ってくれたことを感じています。今年度は次男もこの旭高校に入学。時代が変わっても旭高校の良き伝統は変わらず安心して毎日送り出しています。これからのその良さを守りながらさらなる発展を願っております。



同窓生からの便り

出会うセンス

昭和54年卒

須藤 淳子



音楽関係の仕事に就けたらどんなに幸せだろう。そう思う人は多い

いですが実際に音楽で生計を立てるのは難しい世の中。音大を卒業しただけでは仕事に繋がらないのです。私は家の事情で音大進学を諦めました。が、今になって思うと進学しなかった劣等感がエネルギーとなったようです。努力すれば道は開ける、目標にしていることを常に明確にしました。次第に仲間が増え、六十才目前の今、ようやく演奏の評価も上がってきたように感じます。何より大切なのは、人との繋がりで。教室を長く主宰できているのも、全ては出会いから始まっています。出会うことで広がります。出会うことで学べます。質の良い出会いを目指すことが成功の鍵となるのです。

女性会員第一号として

平成14年卒

芳賀 真利子



私が所属する白河ライオンズクラブは、創立五十周年を迎え初

女性会員として当クラブへ入会をさせて頂き、今年で三年目を迎えました。ライオンズクラブは、クラブが属する地域への感謝の意を込めて、献血活動や清掃活動等、地域に密着した奉仕活動から、失明予防、薬物乱用防止、糖尿病教育、飢餓防止活動まで、様々な奉仕活動に取り組んでおります。白河ライオンズクラブ、女性会員第一号として、今後とも地域で活躍されている先輩の方々と連携を取り合い、よりよい地域社会を目指し、新たな社会事業を見出して参ります。

たよりを読んで

平成16年卒

佐川 史弥



「多くの男子会員の参加を心から願っています。」

この言葉に動かされて、総会・懇親会に参加しようと思えました。一人での参加なので会場まで少し不安がありました。しかし、先輩方に対応していただき、来てよかったと感じました。久しぶりに聞いた校歌は素敵な歌声で迫力がありました。懇親会では、おいしい食事や会員との交流、コンサートもあり、とても楽しく新鮮な時間を過ごせました。私はよく図書館に行くのですが、後輩の頑張る姿を見ると嬉しくなります。母校に少しでも貢献していきたいと感じた一日でした。



ニューヨークから愛を込めて

平成17年卒

金澤 悠人



旭高校を平成十七年に卒業。高校時代はフォークソング部に所属し、ハードロックをしていましたが、今はニューヨークでジャズギタリストとして活躍中です。ジャズクラブやレストラン、教会などで演奏する傍ら、世界各国出身の人々とレッスンやレコーディングを共にしています。在校中、合唱部にも少しいて、その際ゴスペルを歌ったり、文化祭では体育館でライブをしたりするなど、学校生活の中に音楽があったことを嬉しく思い返します。これからは旭高校出身ミュージシャンとして邁進、また、白河でも気軽にジャズに触れられる機会をつくりたいと思っています。

故郷に根を下ろす

平成18年卒

鈴木 良幸



大学卒業後に地元で東日本大震災を経験した後、愛

知県で福祉施設の事務員として就職し、三年半勤めたが、本当にやりたいことは何かを考え、農業を目指すことになりました。

農業を勉強する中で、無農薬の野菜を作る同世代の人達と知り合ったのをきっかけに、自分も本物の野菜を作りたい！やるなら福島だとUターンを決意し、今年から埴町で自然栽培の野菜や米を作り、道の駅で販売をしています。縁あって白河旭高校の近くにあるコミュニティカフェ「エマノン」に行きました。学生と地域を繋ぐ良い場所なので皆さんに是非寄ってほしいです。

訃報

会計の白井節子さんが逝去されました。ご生前の功績を並び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

文武両道

— 頑張る 白河旭高生 —

フィリピン派遣に
参加して

全国大会に出場して

最高賞の金賞二連覇の快挙

優秀賞をいただいて

JRC委員

三年 内儀 雪野

私は八月に日本赤十字社福島県支部主催のフィリピン派遣に参加し、発展途上国の現状を自分の目で見る機会を頂きました。この派遣を通じて、フィリピンの人々の心の豊かさや生きる力、自分が生きていく世界との違いに触れ、これから自分がどう生きていくべきかを改めて考えることが出来ました。卒業後は大学に進学し、国際的に活躍する看護師を目指します。世界の人々と共に生きるために、自分出来ることを考え続けたいと思います。



陸上競技部

二年 大倉 一樹

私は今年度、三重県伊勢市で行われた第71回全国高等学校陸上競技大会に出場しました。私の参加した種目は棒高跳です。東北大会では4m30で五位に入賞しました。自己ベストは4m50ですが、インターハイでは最初の高さ4m60を飛ばせませんでした。中学校の時の全国大会も記録無しかったので、今回も同じくらい悔しかったです。来年度は高校生活最後の大会になるので、一つ一つ真剣に練習に取り組み、昨年のインターハイに出場したからといい慢心せずに頑張っていきたいです。



来年度も金賞を目指し、三連覇を達成していきます。

私達美術部は毎年、福島県高校生交通安全CMコンテストに参加しています。それに向けて学年毎に一致団結し交通安全を喚起する映像の制作に励んでいます。3年程前の先輩方より連続銀賞を受賞し、昨年度に初めて金賞を受賞しました。私達も先輩方に倣い、大変な努力をして制作に励み、昨年度に引き続き2年連続の金賞を受賞することができました。作品は全て手書きの為、同じ様な絵を何度も描き、とても時間と忍耐力のかかる作業ですが、作品が完成し映像となり生き生きと動くとても感動します。これからも作品づくりを精進していきたいと思えます。

美術部
二年 大塚 海晴

文芸部
一年 柳 沼 諒

私はこのたび、「みんな」という詩で入賞しました。結果を残すことが出来たのも、支えてくれた先生方、同じ部活の仲間のおかげです。全国大会にも出品されるので、とても楽しみです。この詩は、いつも私が考えている事を文章にしたものです。いつも周りに合わせる必要はあるのか。自分を殺してまで生きている私を詩にしました。こんな詩が入賞出来るなんて、いつもネガティブな



ことを考えていて良かったです。本当に良かったです。ついに報われました。これからも結果を残す事が出来るよう、頑張っていきたいと思えます。どうか、文芸部の愉快な仲間たちを、どうぞよろしくお願ひ致します。

平成30～31年度 稚松会役員名簿

役職	氏名
名誉会長	鈴木 木 芳 人
会長	渡辺 美 恵 子
副会長	三森 美 智 子
	清水 水 則 子
庶務	金澤 登 志 子
	酒井 智 子
会計	深谷 優 子
	鈴木 邦 子
会計監査	有賀 典 子
	上野 マキ 子
総務部長	遠田 和 由 美 子
	蛭竹 内 知 信 子
総務副部長	和知 川 孝 文 子
	中秋 山 橋 文 子
総務委員	大秋 山 橋 文 子
	鳴 芳 幸 子
文化部長	芳 幸 子
文化副部長	佐 幸 子
文化委員	池 知 和 子
厚生部長	真 高 礼 子
厚生副部長	高田 崎 子
厚生委員	田村 信 子
	田見 信 子
	吉筒 恵 子
	柳井 鈴 子
	松岡 由 美 子

白河旭高等学校《稚松会》
平成29年度歳入歳出決算書

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 摘要. Rows include 繰越金, 入会金, 雑収入, 歳入計.

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 摘要. Rows include 総務部費, 入会記念品費, 渉外費, 通信費, 消耗品費, 印刷費, 講習会費, 雑費, 旅費, 事務費, 厚生部費, 新年会準備費, 記念品費, 事業費, 部活動援助費, 旭高校後援会協力金, 褒賞費, 予備費, 歳出計.

歳入総額 1,812,742 円
歳出総額 1,125,609 円
歳入歳出差引残額 687,133 円

平成29年度稚松会会計歳入歳出決算について上記のとおり報告します。

白河旭高等学校《稚松会活動協力金》
平成29年度歳入歳出決算書

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 摘要. Rows include 繰越金, 活動協力金, 雑収入, 歳入計.

Table with 3 columns: 科目, 決算額, 摘要. Rows include 稚松会だより費, 印刷費, 発送費, 諸経費, 支部活動補助費, 予備費, 歳出計.

歳入総額 3,601,380 円
歳出総額 2,381,147 円
歳入歳出差引残額 1,220,233 円

平成29年度稚松会活動協力金会計歳入歳出決算について上記のとおり報告します。

今年度の旭賞受賞者
表彰式 日時：2月28日(木)
丹野 咲 (たんの さき)
吉田晴夏 (よしだ はるか) (陸上)

稚松会からのお知らせ

稚松会総会 新年会
2019年5月26日(日) 2020年1月26日(日)
時間：10:30～ 時間：12:00～
会場：鹿島ガーデンヴィラ 会場：東京第一ホテル新白河
参加申込：4月31日まで 参加申込：12月31日まで
◎どなたでも参加できます。
出席希望の方は役員または学校へご一報下さい。
◎次期幹事(耳順の会)は昭和53年卒の方です。よろしくお願ひします。

稚松会からのお願い

- ◎稚松会活性化のために協力金の御協力を切にお願いいたします。
◎稚松会会員名簿を作ることになりました。会員の方に確認のハガキが届くと思いますので、ご協力よろしくお願ひ致します。
◎住所やその他の変動は事務局までご連絡下さい。

TEL 0248-22-2535 FAX 0248-24-2779



心より御礼申し上げます。
どうか、紙面にあふれる躍動する想いやしみみとした感慨等をご感受いただき、皆様の日々のエネルギーの糧としていただけますならば、幸甚に存じます。(芳賀)

編集後記

県立白河女子高等学校並びに県立白河旭高等学校卒業生の皆様、お元気でらっしゃいますか。この春も「稚松会だより」をお手元にお届けできますことをありがたく、たいへんうれしく思います。

